

エグザート

ExARTアカデミー

ビジネスパーソンのための
リベラルアーツ・アカデミー

2018

BUSINESS x ART

STYLART
I N C.

■ リベラルアーツとは？

リベラルアーツ (Liberal Arts)とは、ラテン語の arts liberales (アルテース リベラーレース) が由来の「自由人の知識」という意味であり、狭義では学士過程における、人文、社会、自然科学を包括する分野ですが、日本語では通常「教養」と訳されます。

教養とは、単なる知識の集積ではありません。真の教養とは、得た知識の引き出しを数多く作りながら、ケースバイケースでその引き出しを使って自分自身の考えや意見を組み立てあげる力のことであり、それをベースに正しい判断や決断が実行できることを指します。そして教養人とはまさにこれに基づいた行動ができる人のことを指します。

またリベラルアーツは次の人間の5つの能力に影響を与えていると言われています。

ものの見方

コミュニケーション

判断軸

バランス感覚

グローバル感覚

リベラルアーツに正解・不正解はありません。リベラルアーツはいわば先人たちの「智慧」の結晶であり、その智慧の積み重ねによって我々は生かされ、我々の社会を形成していることを理解しなければなりません。

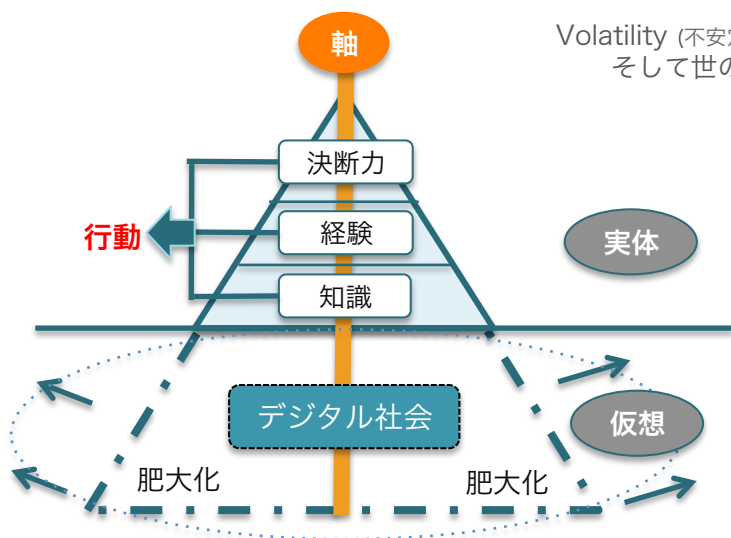
■ なぜ今ビジネスリーダーにリベラルアーツが必要なのでしょう？

現代はVUCAの時代だとよく耳にします。
Volatility (不安定)・Uncertainty(不確実)・Complexity(複雑)・Ambiguity(曖昧)。
そして世の中はもはやデジタル無しでは考えられない社会になっており、ややもすると我々はその仮想世界の中だけで情報を収集し、判断し、決断をしてはいないでしょうか？

「実体」を認識し、物事の本质を見極めていきながら正しい意思決定や判断をしていくこと。正解がなかなか見えないこの時代だからこそ、今ビジネスリーダーにとって求められている資質です。

書物などで様々な”知識”を取り入れ、日々”経験”を積み重ね、その知識と経験を持って判断、決断し、実行する。

この「行動」こそ、その人の価値基準が反映され、ぶれない「個」を形成するには、太い「軸」が不可欠であり、その「軸」を形成するものが、リベラルアーツなのです。



【リベラルアーツの4つの効用】

正しく、ぶれない意思決定に必要な自分自身の「価値基準」の「軸」を構築する

グローバル化に際し、世界各地の多様な文化や価値観を理解し、対応していく能力を身につける

通常の仕事とは異なる感情と直結した知的刺激により、本来持っている「感性」が高まり、企画力・開発力を促進する

まずは「考える」目に見えない相手の意図を思考することでコミュニケーション力が磨かれる

- 经营理念の構築に
- 新規事業の構築に
- リーダーの育成に
- 組織開発に

- 新規市場参入の機に
- リーダーの育成に
- 事業改革の構築に
- 組織開発に

- 商品企画に
- 商品開発に
- マーケティングに
- ブランディングに

- 組織開発に
- リーダーの育成に
- 事業改革スタートに
- 新規事業参入時に

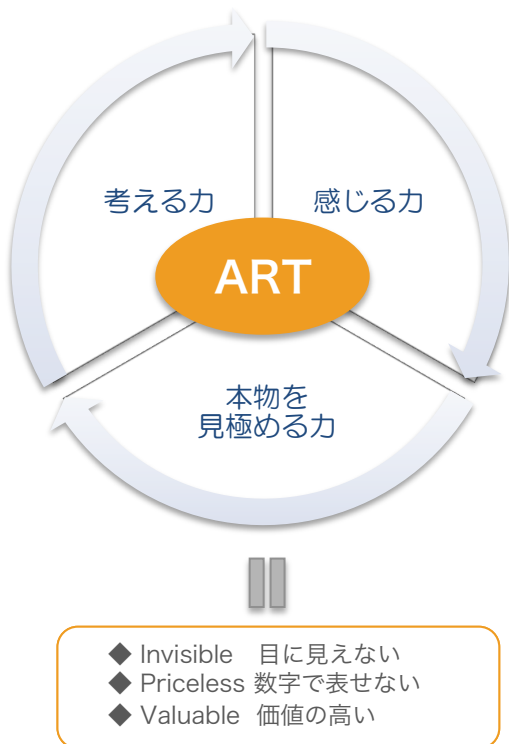
■ 美意識の重要性

「美」というのは人間が持つ共通の基本的な**価値観**であり、古今東西を問わず「美しいもの」について我々人間は常に敬意を払い、後世に残すべく守ってきました。

ただし、この価値観は数値に表されるものではありませんし、論理で白黒がつくものでもないものです。

直感や**感性**、などという言葉で表されますが、美しいか、という判断こそまさにその人の「**美意識**」に基づいたものであり、その人の価値基準が反映される、と言えるでしょう。

美しいか？という判断を迫られるのはモノに対してだけではありません。美しい仕草、作法、意志、決断、行動。つまり個人の美意識はその人の**スタイル**であり、セルフウエアネス=**自己認識**であり、「**軸**」でもあるのです。そう考えると、**美意識**は芸術という限られた世界の中だけの言葉ではなく、**ライフスタイル**や**ワークスタイル**など我々の日々の生活、ひいては人生そのものに深く関係していることがお分かりいただけると思います。



■ アートにはどんな効果があるのでしょうか？

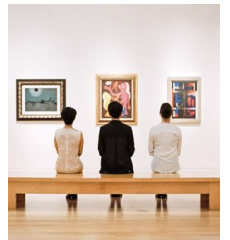
アートは元来自由であり、こうでなくてはいけない、という正解がないかわりに、まず「**考える**」ことが必要です。

また、本物、質の高いものしか後世まで残りません。

だからこそ一流品と触れ合うことが重要で、一流を相手に「考える」ことこそ“思考の訓練”の贅沢な時間と言えます。

また、名作と対峙することは、作家との**コミュニケーション**です。

答えを出すのではなく、答えのないものを考える力、作家の想いを感じる力、質の高さを判断でき、本物を見極める力=**目利き力**という能力をアートは我々に授けてくれるのです。まさに究極のコミュニケーション力の養成です。



目に見えず、数値化もできませんが、こうした**直感力**、**目利き力**は他人が真似のできない、その人だけの特異でオリジナルな能力です。

これはビジネスをしていく上でも、生きていく上でも非常に価値の高い能力のひとつといえるでしょう。

結果がすぐ出ない“**遅効性**”効果であることもポイントです。

■ 美意識をどう鍛えるか？

美意識は生まれつきのものではありません。

環境や経験によって変わってもいきますし鍛えることができます。

そしてそのための必要条件は「**観察眼**」と「**想像力**」です。

例えば、絵画を例にとってみましょう。

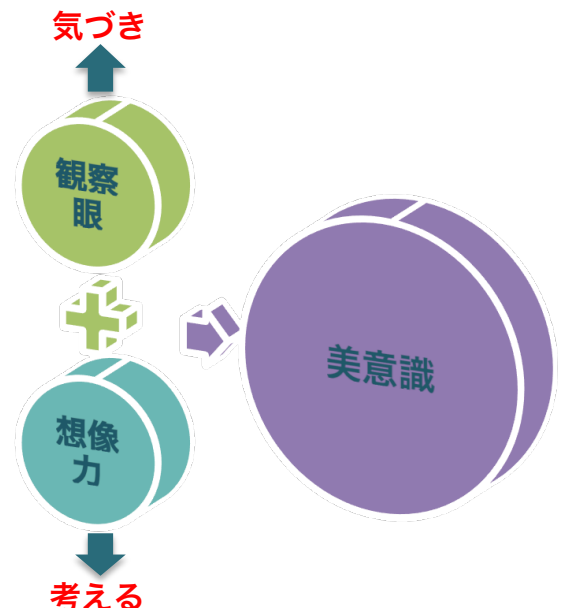
絵画には画家の意図、**メッセージ**が隠されています。

それを読み取るステップとして、まずは絵そのものを**観察**する、細部にまで眼を凝らす。そうすると必ず「**気づき**」があります。

次に自身の「**想像力**」を働かせ、その絵を感じながら、画家のメッセージは何だろう？と考えてみる。「**思考**」です。

ポイントはここでの「**思考**」は正解がない、答えを出す必要がないこと。この「**思考**」こそが今とても重要であり、創造力につながる一歩なのです。

さらに、画家がその絵画を生み出すに至った画家自身の**気づき**や**思考の過程**、あるいは画家が生きた時代やその社会の流れを知ることによって思考をより幅広く、深めていく。



ExARTアカデミーでは、この「**観察**」と「**思考**」のステップをアートという切り口で訓練し、美意識を鍛えていきます。

01 エグザート ExARTアカデミーについて

ExARTアカデミーは、スティラートが提案する企業人のための新しい「学び」のプラットフォームです。企業人ひとりひとりがリベラルアーツを通して人間性を高め、自身の価値や判断基準を磨く環境を提供いたします。企業の発展の鍵となる「人財」の核を育てることがスティラートの使命です。



ExARTアカデミーはSTEP1とSTEP2, ExART Experience の3ステップで構成されています。

STEP1 自分の「軸」に気づくトレーニング (毎月2回：半期全12回 通期全24回)

- 日本美術編 (月1回・半期6回 通期12回)
- 宗教編 (月1回・半期6回 通期12回)

STEP2 自分の「軸」を養うトレーニング (毎月1回：半期全6回 通期全12回)

- アートビジネス編 (月1回・半期全6回)
- ワインビジネス編 (月1回・半期全6回)

ExART Experience 体験感を磨くトレーニング (通年不定期)

02 コンセプト

正しく観ること : 見聞を広める

正しく思うこと : 思考する

1

2

3

4

正しく語ること : コミュニケーションをする

正しく業すること : 正しく事を行う

03 受講対象者

- 経営幹部
- 経営幹部候補者
- 部長・課長などマネージャークラスの方々
- 海外事業従事者の方々
- 海外赴任予定者



リベラルアーツがより内面に響き、仕事に反映できるようになるには、ある程度豊かな人生経験が必要です。そういう意味では、受講者は30代以上が望ましく、40代または50代の方々の受講が最適だとも思われます。また、同じ部署から30~50代と3世代に渡って受講していただくことで、通常業務と異なる世代間コミュニケーションが促進されオススメです。

04 エグザート ExARTアカデミーの特徴

♣ 2012年より一貫してリベラルアーツに特化した人材育成コンテンツを研究したオリジナルコンテンツ。

♣ “勉強”的研修ではなく、リベラルアーツの「個」と「ビジネス」への効用にフォーカス。

♣ アートと同様に講師とコンテンツについては「本物・一流・希少」が絶対基準。

♣ 美的感覚を重視したリラックスした雰囲気での、多業種&少人数制でのダイアログ形式。

エグザート
ExARTアカデミー 2018 プログラム

【STEP1】自分の「軸」に気づくトレーニング

STEP1のコースでは、**美術**と**宗教**の2本立てでトレーニングをしますが、そのどちらもがそれぞれの中に「**哲学**」を包容しています。学んでいただくのは知識としての教養だけではなく、その中にある**哲学**がどのように体系化され、継承されてきて、現在の我々の生活の中に息づいているのか？ということを知ることにより、それがまるで鏡となり、自分自身を見つめ直すトレーニングとなります。その結果、自分の**視点**や**捉え方**を客観視し、その気づきこそがまさに**視野を広げ**、自分の「**軸**」が何なのかに気づく第一歩となります。

日本美術編

知っておくべき日本美術入門

(Aターム：月1回 半期6回 + Bターム：月1回 半期6回 全12回)

講師

くろだ たいぞう
黒田 泰三氏 明治神宮ミュージアム開設準備室 室長
元 出光美術館 学芸部長



1954年福岡生れ。九州大学文学部卒業。博士(文学)。専門は日本近世絵画史。京都造形芸術大学客員教授。女子美術大学、東京藝術大学などで講師も務める。2008年第6回徳川賞(徳川記念財団主催)を受賞。著書に「もっと知りたい長谷川等伯」「思いっきり味わいつくす伴大納言絵巻」「狩野光信の時代」など。近著に「思いがけない日本美術史」を新書として出版。

日本美術には独特の「**平面の美**」があり、そこにある「**間**」と「**奥行き**」を感じるこそ、日本美術鑑賞の極意です。

ここでは美術史を学ぶのではなく、その時代に我々と同じように悩み、働き、生きた画家たちが残してくれた作品をじっくりと鑑賞することにより、彼らからのメッセージを現代の我々がどれだけ受け止められるか？がテーマです。

じっくりと時間をかけて人生の感受性を育成する。そのための「**想像力**」を発揮していただく内容です。



宗教編

知っておくべき世界と日本の宗教

(Aターム：月1回 半期6回 + Bターム：月1回 半期6回 全12回)

講師

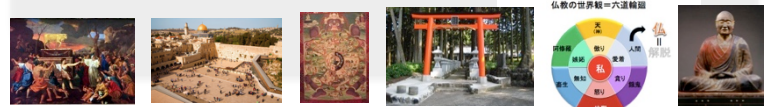
まきの そうえい
牧野 宗永氏 宗教家・ギャラリーヒマラヤンアート主宰



故梶山雄一先生から中観思想を、小野田俊蔵先生からチベット語、森山清徹先生から瑜伽行中観派の思想を学ぶ。ネパールのカトマンドウへ留学し、故ケツン・サンポ・リンポチェに師事。そのほか、チベット仏教ニマ派の高僧たちから多くの貴重な伝授、灌頂を授かり、約8年間チベット仏教僧院に滞在。帰国後、チベット仏教や日本仏教の叡智を伝える「**仏教文化コミュニケーター**」として活動。

宗教を客観的に学ぶことと信仰することは全く別物です。その神を信じる人たちはなぜそう考えるか？を知ることは、「**他者が大切にしていることを正しく理解する**」ための「**共感**」の第一歩です。

ダイバシティ(多様性) が叫ばれる今、多様な考え方を知り受容する視座が重要であり、同時に日本古来の風習や言伝え、文化が宗教と密接な関係にあり、それらが自分の判断基準や倫理観にどう影響しているのかを学んでいきます。



2018 【STEP 1】 プログラム内容

*日程、プログラムの内容は変更になることがあります。詳細は随時ご連絡いたします。

		木曜夜・18:30~21:00								
2018	知っておくべき日本美術入門 (半期各6回 全12回)				知っておくべき世界と日本の宗教 (半期各6回 全12回)					
	明治神宮ミュージアム 開設準備室 室長 黒田 泰三氏				宗教家・仏教文化コミュニケーター・ヒマラヤンアート主宰 牧野 宗永氏					
1月	Aターム	1月11日	日本絵画の魅力	正しい絵の見方なんて誰が決めたの？	概論	Aターム	1月18日	宗教的観点から世界をみつめたら… 1	「一神教概論」	
2月		2月8日	"柔らかな"美しさ 1	マンガの原点、国宝「伴大納言絵巻」	平安時代		2月15日	宗教的観点から世界をみつめたら… 2	「キリスト教と資本主義」	
3月		3月22日	"柔らかな"美しさ 2	洛中洛外図屏風から琳派そして浮世絵まで	室町~江戸時代		3月8日	宗教的観点から世界をみつめたら… 3	「イスラム教と中東情勢」	
4月		4月12日	"堅い"美しさ 1	水墨画ってわかりますか？	鎌倉時代		4月19日	宗教的観点から世界をみつめたら… 4	「神道」	
5月		5月17日	"堅い"美しさ 2	狩野派の出現、そして、長谷川等伯！	桃山時代		5月24日	宗教的観点から世界をみつめたら… 5	「仏教(世界編)」	
6月		6月14日	Dialogue				6月21日	Dialogue		
7月	Bターム	7月19日	対決！ 大企業 vs ベンチャー	「長谷川等伯 vs 狩野永徳」 1	桃山~江戸初	Bターム	7月12日	こんなにあった、身近な仏教思想 1	「神とほとけ」	
8月		8月9日		「長谷川等伯 vs 狩野永徳」 2			8月23日	こんなにあった、身近な仏教思想 2	「存在の根源」	
9月		9月13日	不健全な美学	国宝「彦根屏風」 1	江戸初期		9月20日	こんなにあった、身近な仏教思想 3	「仏教(日本編)」	
10月		10月11日		国宝「彦根屏風」 2			10月18日	こんなにあった、身近な仏教思想 4	「葬儀・お墓・戒名」	
11月		11月15日	"ゆるい"美しさ	超難関?! 文人画って知っていますか？	江戸時代		11月22日	セッション：幸福論~"なぜ殺してはいけないのか?"~		
12月		12月6日	Dialogue				12月13日	Dialogue		

【STEP2】自分の「軸」を養うトレーニング

STEP2のコースでは、リベラルアーツの本質を持ちながらそれを実際ビジネスにしているアート、そしてワインにフォーカスをし、STEP1で感じ取った自身の想像力や観察力、多様性の許容や視座から形成される「軸」に対して、そこに肉付けをしていく形でトレーニングをしていきます。日頃あまり馴染みのない分野のビジネスを知ることで、アートの本質として隠されたエッセンスがどのようにビジネスに活かされているか、またそれがどのように自分に、あるいは自分のビジネスと繋がるか、ということをより能動的に考えていただきます。

アートビジネス編 アートビジネスの真髄 (Aターム：月1回 半期全6回)

講師

おおこ げん
大胡 玄氏 クリスティーズ・ジャパン
ヴァイスプレジデント



1998年 コーンズアンドカンパニーリミテッド 入社
2004年 ニューヨーク大学教育学部スタジオアーツ
写真専攻 修士課程修了。
クリスティーズ (NY)入社 日本・韓国美術部門
2007年 クリスティーズ ジャパン 現在に至る。
アジア現代アート及び NY・Londonの西洋現代アート
担当。個人コレクターのお客様を中心に美術品全般・
時計などの出品/落札に携わる。

アートにもきちんとマーケットがあることをご存知ですか？
現在全世界で約7兆円、プライマリーとセカンダリーの2つ
のマーケットがあるアートビジネスは、実は金融業界と意外
と近いビジネス構造です。

ただアート業界を知らないがゆえに、その売買についても馴染みのない方や、アートは美術館で観るだけ、知識だけ、と
思っている方も多いのではないのでしょうか？

今回はなかなかオープンにされないアートマーケットの仕組みや世界の富裕層を虜にしているオークションの実態のほか、
ビジネスにおけるアートの活用の仕方など、アートビジネス
のイロハから実践編までをよりグローバルな視点で、幅広く
お話いただき、アトリテラシーの向上を図ります。



ワインビジネス編 ワインビジネスの真髄 (Bターム：月1回 半期全6回)

講師

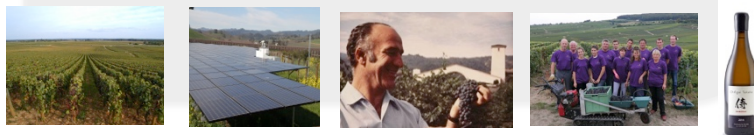
かとう かつや
加藤 勝也氏 ワインアンドフードラボ 代表



1970年生まれ。大学卒業後、生活情報紙、テレビ局
などに勤務し、コンテンツ制作、広告コンサルティング・営業に携わる。2002年、ワインと食を学ぶため
渡仏。帰国後、大手食品メーカーの商品開発などに
参加。2004年、ワイン専門誌「ワイン王国」に入社、
経営に参画。広告、企画全般を担当する。
ワインマーケットの現場で培ったノウハウ、食に
関する知識と経験をもとに、2016年2月、株式会社
ワインアンドフードラボを設立。

ワインはグローバルビジネスとして挙げられるひとつです。
造り手には大規模なLVMHのようなコングロマリットから
シャトー、そして家族経営の小さなところまで規模は様々。
また産地によってもそのスタイルやテイストは異なります。

しかしながら各ワイナリーに共通しているのは、自分たちの
フィロソフィーを非常に大切にしていること。また、農業面
だけでなく、ワイン産業としての持続可能性を視野に入れた
ビジネスを常にしていること。これはまさにサステナビリティ
に根付いたビジネスの考え方です。
マーケティング・ブランディング戦略にも長けたワインビジ
ネスは異業種のビジネスにもヒントになる何かがあるはず。
ビジネスの切り口でワインを観る画期的な講座です。



2018 【STEP 2】 プログラム内容

*日程、プログラムの内容は変更になることがあります。詳細は随時ご連絡いたします。

		木曜夜・18:30~21:00								
		前編 (半期 月1回 全6回)				後編 (半期 月1回 全6回)				
2018	1月	アート ビジネス編	クリスティーズ ジャパン ヴァイス・ プレジデント 大胡 玄氏	1月25日	オークションって知っていますか？	7月	ワイン ビジネス編	ワイン アンド フードラボ 代表 加藤 勝也氏	7月26日	"フィロソフィー"で観る
	2月			2月22日	アートマーケットの仕組み	8月			8月30日	"造り手の企業構造"で観る
	3月			3月23日	ビジネスにおけるアートの使い方	9月			9月6日	"サステナビリティ"で観る
	4月			4月26日	日本におけるアートマーケット	10月			10月25日	"気候変動など環境問題"から観る
	5月			5月31日	Buy & Review !	11月			11月29日	"イノベーション"で観る
	6月			6月28日	日本におけるアートマーケット	12月			12月20日	"マーケティング"で観る

ExART Experienceコースでは、今まで座学で学んできたことを実際に見たり、体感したり、という「体験」を軸にプログラムを設定しています。百聞は一見に如かず。自分の目で観て感じることは、感性育成には欠かせません。特色ある体験実習を通して、ご自身の体験に対する感度を磨いていただくトレーニングです。

2018【ExART Experience】プログラム内容

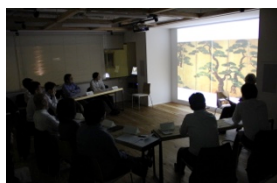
■ 講師との京都研修旅行 (美術編+宗教編) 1回 /年

■ 日本伝統文化に関わるミステリー研修 3回 /年



?

過去の講義風景



受講生の声

会社の業務とは異なる視点でモノを考える非常に良い機会だった。(40代 ITコンサル企業 マネージャー)

よりよく生きる、必死で生きるために考える。それはいつの世も同じということを実感した。(50代 IT企業役員)

仕事に宗教的素養が必要だとはまったく思っていなかったが、大きな気づきがある。(40代 メーカー)

同じモノでも視点が重要という気づきは日々の業務に対して非常に参考になった。講師が素晴らしい！(50代 シンクタンク役員)

美術はまったく疎くて正直苦手だったが、こんなに楽しいモノだと知り世界が広がった。(30代 金融)

細部を観て、大局を観る。この繰り返し。まさに日本美術の見方から教えてもらいました。これはビジネスにも重要ですね。(50代 IT企業 役員)

役員研修としてもこのようナリベラルアーツの研修は本当に必要だと実感した。本当にとても良かった！(50代 メーカー役員)

美術と宗教、実は根底に共通事項があることを発見しました。(40代金融役員)

正気を取り戻し、世界への視野を正すために、私は、日本美術を見る。

ピーター・ドラッカー

* ExARTの由来

Executive
Experience
Exchange X ART
Expand
Explode



people + together + sharing + quality time + experiences

ExART アカデミー 2018 プログラム 受講申込要項

入会金 100,000 円 / 社

ExARTアカデミーでは企業単位の参加、および会のレベル保持のために会員制にしております

STEP 1

受講期間	Aターム： 2018年1月～6月 6ヶ月間 月2回 (日本美術編+宗教編) 全12回
	Bターム： 2018年7月～12月 6ヶ月間 月2回 (日本美術編+宗教編) 全12回
対象	初めてリベラルアーツに触れる方 (*詳細は内ページの受講対象者を参照)
定員	12名 (1社あたり3名まで)
受講料	半期12回分 1名様 180,000 円 (税別)
	年間24回一括払 1名様 345,000 円 (税別)

STEP 2

受講期間	Aターム： 2018年1月～6月 6ヶ月間 月1回 全6回
	Bターム： 2018年7月～12月 6ヶ月間 月1回 全6回
対象	STEP 1を受講した方、アートビジネス、ワインビジネスに興味のある方
定員	12名 (1社あたり3名まで)
受講料	半期6回分 1名様 120,000 円 (税別)
	年間12回一括払 1名様 220,000 円 (税別)

ExART Experience

受講期間	2018年1月～12月 1年間
	特別研修旅行 1回 + 特別体験研修 3回
対象	STEP1 & STEP2 を受講した方
定員	10名 (1社あたり3名まで)
受講料	年間一括払 1名様 240,000円 (税別)

申込方法

下記WEBページより申込書をダウンロードし、メールにてお送りください。

HP

<http://www.stylart.co.jp>



E-mail

exart-academy@stylart.co.jp

お申込はメール受領をもって正式な参加申込とします。申込書受領後、事務局より御連絡をいたします。詳細はホームページ内、「受講申込要項」をご覧ください。

会場

東京都都内・企業内サロン
お申込を戴いたのちに場所のご案内を致します

受講料お支払いについて

お申込責任者の方へ請求書をお送りいたしますので、記載の支払期日までに指定口座へお振込ください。
*お振込手数料は恐縮ですが貴社にてご負担くださいますようお願い致します。

キャンセルについて

お申込み後、受講者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。なおキャンセルのお申し入れは、必ずメールもしくはにて御連絡ください。

開講30日前～21日前まで：受講料の30%

開講20日前～14日前まで：受講料の50%

開講日13日前～当日まで：受講料の全額

◆ 参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしませんので、キャンセルの際は必ず御連絡ください。

個人情報取扱いについて

株式会社スティラートでは、個人情報の保護に努めております。詳細は弊社ホームページ (<http://www.stylart.co.jp>) をご覧ください。また、ご提供を戴きましたお客様の個人情報は、本会のプログラムに関する確認や連絡、その他弊社の提供するサービス商品のお知らせやご案内の送付などに使用させていただきます。

その他

- 年会費などは発生しません。
- プログラムの内容や教材、配布資料などの無断転用および複製は禁じます。
- テキストや配布資料などは会場でお渡し致します。受講生以外の方にはテキストはお分けできませんのでご了承ください。
- 録音・録画・写真撮影は一切禁じます。なお、記録用に弊社にてビデオ録画・写真撮影を行う場合がございますので、予めご了承ください。

お問合せ先

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3-33-8

株式会社スティラート

スティラート ExARTアカデミー

検索

ExARTアカデミー担当

TEL : 03-6721-6573

E-mail : exart-academy@stylart.co.jp

